

【R04-17】

Rasch分析による下腿義足患者のADL構造解析

1. 研究の対象

2014 年 1 月から 2023 年 3 月までに当院リハビリテーション科に入院された下腿切断の方

2. 研究目的・方法

目的：認知機能の低下がない下腿義足患者において、FIM 運動 13 項目（食事、整容、etc）の入院時、退院時の動作の難易度を特定し、下腿義足の各 ADL 動作の得点の変化や得点傾向に着目して下腿義足患者の日常生活活動（ADL）の再獲得過程の特徴を明らかにすることを目的としています。

学会、医学論文などの報告・研究に使用いたします。

方法：当院リハビリテーション科所属の研究担当者が、対象となる方の診療記録（カルテ）を基に調査・集計します。新たな診療や検査の必要はありません。

また、発表に使用する際は、個人が特定できる情報は全て削除いたします。

研究期間：2023 年 10 月 1 日まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

年齢、性別、病歴、診断名、治療歴、Performance Status、FIM 日常生活自立度評価表（入院時・退院時それぞれ）、認知機能（院内で評価された MMSE もしくは HDS-R の点数）、在院日数等診療情報録（カルテ）に記載されている情報

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

J R 東京総合病院 リハビリテーション科

住所：東京都渋谷区代々木 2-1-3

電話：03-3320-2210（代表）

担当者： 研究責任者 川端 敦史 （リハビリテーション科 作業療法士）

-----以上